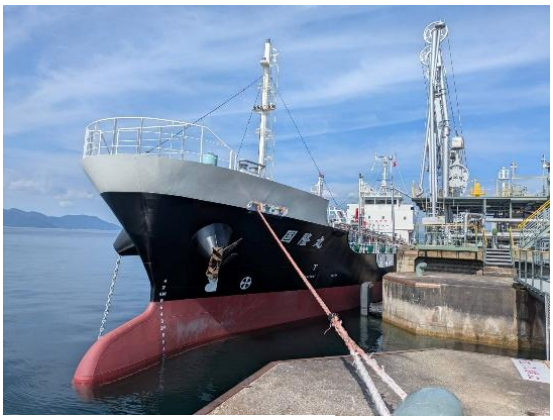
報道各位

2026 年 9 月 25 日

三菱ガス化学株式会社
国華産業株式会社
阪神内燃機工業株式会社

国隆丸竣工および初回のメタノールバンカリングを実施

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊佐早 禎則、以下、三菱ガス化学）、国華産業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今川 公史、以下、国華産業）および阪神内燃機工業株式会社（本社：神戸市中央区、代表取締役社長：木下 和彦、以下、阪神内燃機工業）の 3 社は、国華産業が発注し、阪神内燃機工業が製造したメタノール専焼主機関を搭載したケミカルタンカー「国隆丸」（総トン数：498 トン、造船所：興亜産業株式会社、以下、本船）が竣工し、本船への初回メタノールバンカリング（燃料供給）※1 を実施したことをお知らせいたします。

木江港でのメタノールバンカリングの模様

今回竣工した本船は、三菱ガス化学が傭船し、国内のメタノール輸送を主軸としながら、メタノール燃料供給船としての役割も担う予定です。また、メタノール専焼船の導入は国華産業にとって初めてです。

2026 年 9 月 24 日に木江港にて実施された初回メタノールバンカリングでは、三菱ガス化学の新潟工場で生産した国産のバイオメタノール※2も一部供給しました。供給したバイオメタノールは、本船の運航時に燃料として使用されます。

内航海運の脱炭素化に向け、国土交通省は 2030 年度に 2013 年度比で約 17%、2040 年度に同約 36%の内航海運由来の CO_2 排出削減目標を掲げています。CO_2 排出削減が期待されるメタノールは常温・常圧で液体として扱えるため、運用面で導入しやすく、かつ既存インフラとの親和性が高い燃料の一つです。また、従来燃料と比べ、硫黄酸化物（SO_X）、粒子状物質（PM）および窒素酸化物（NO_X）の排出削減にも寄与します。こうした背景のもと、本船建造事業の一部は、環境省が国土交通省と連携して実施している「令和 6～8 年度海事分野における脱炭素化促進事業（うち LNG・メタノール燃料システム等の導入支援事業）」の採択事業として行われました。メタノール燃料の使用により、従来の重油を燃料とする船舶を比較対象とした場合、約 17.5%の CO_2 排出削減が見込まれています。

また、今回実施したバイオメタノールの一部供給は、環境負荷の低い燃料の社会実装に向けた先行的な取り組みとして位置付けています。メタノールは、CO_2 や廃プラスチック、バイオマスからも合成することが可能です。三菱ガス化学は、このように製造したメタノールから素材やエネルギーを生み出す環境循環型プラットフォーム「Carbopath™（カーボパス）」を推進し、循環型社会の構築を目指しています。国華産業は、メタノールの運搬から給油までの体制構築を通じ、海運における CO_2 排出削減に向けた取り組みを強化しています。阪神内燃機工業は長年、クリーンな燃料としてのメタノールに注目した技術開発を進めており、いち早く、メタノールエンジンの製品化を達成しました。

本件は、こうした先駆的な取り組みを進める 3 社の協力による内航海運での CO_2 排出削減に向けた大きな一歩です。3 社は、本船の竣工および初回バンカリングの実施を踏まえ、今後も本船の運航を通じて、メタノール燃料の普及拡大ならびに供給体制の構築に取り組み、海運分野におけるカーボンニュートラルの達成に貢献してまいります。

＜本船仕様＞

載貨重量トン数	1,223 トン
総トン数	498 トン
主機関	阪神内燃機工業　型式：LA28MRG
運航者	国華産業
傭船者	三菱ガス化学

※1：船舶で使用する燃料を供給すること。

※2：マスバランス方式によりバイオマス特性が割り当てられたメタノール。

以　上

【本件に関するお問い合わせ先】

三菱ガス化学株式会社　総務人事部広報グループ
TEL: 03-3283-5040

国華産業株式会社　管理部
TEL: 03-6367-5710

阪神内燃機工業株式会社　東京営業グループ
TEL: 03-3243-3262